

# 認可保育園に園児の防災頭巾の常備を求める請願

## 請願趣旨

日本はその位置と構造から地震が身近であり、関東地方でも大地震の発生が懸念されています。2008年に発生した岩手・宮城内陸地震、海外では中国四川省大地震は記憶に新しいところです

2008年町田市立保育園では、それまで家庭より預かって保育園で管理していた防災頭巾を返却し、町田保育園を除き保育園には防災頭巾が無い状態です。2008年度に実施した認可保育園保護者を対象としたアンケートで「保育園の防災頭巾の準備」を尋ねたところ、認可保育園全体でも「用意されていない・わからない」という回答が1/3以上ありました。

町田市に、市立保育園での返却理由を確認したところ、園児が「保育者の声を聞き取れない、慣れておらず不安がる、視界をさえぎられるため転倒の危険がある」などが挙げられ、またそれに代わる「他の手段を講じる」とのことでした。しかしゼロ歳児保育のある、防災頭巾常備の保育園に確認したところ、小さいときから訓練をしていれば不安がることもなく使用の悪影響は感じていない、というご意見をいただきました。

災害発生時、保育園はその性質上、保護者の帰宅まで園児の保育を続けることとなります。町田市の場合、都内に通勤する保護者も多く、帰路にどれだけ時間がかかるかは計り知れません。また、災害の度合いによっては、近隣の避難場所への移動も発生します。その際、避難経路上も危険も多く、両手がふさがらずに使用できる防災頭巾やヘルメット等は必須です。また防災頭巾は、避難時の待機中にも座布団として使うなど、災害時の使用のメリットは大きいと考えています。

町田市として、園児の安全確保を第一に考えた災害時の対応を望みます。市立保育園のみならず、認可保育園全体を対象として、以下の通り請願致します。

## 請願項目

1. 災害発生時に園児を守るために、保育園に防災頭巾やそれに準ずるものを常備・管理すること
2. 日ごろから防災頭巾を使用した防災訓練を行い、園児に習慣づけるよう、町田市が指導すること